



STOP!

生活保護 基準引き下げ アクション!

あなたの、「いのちの最終ライン」を守ろう。

生活保護
制度は、

生活保護を利用していない人の
いのちと生活も守っています。

生活保護基準が引き下げられると……。



低収入なのに課税される世帯や、就学援助などの自治体の減免制度を使えなくなる世帯が増えます。

地方税の非課税基準や自治体のさまざまな減免制度の適用基準は、生活保護基準に連動しています。国民健康保険や介護保険の保険料・一部負担金減免、障害者自立支援法による利用料減額、高額医療費、保育料、上下水道利用料減免などです。



最低賃金が切り下げられ、労働条件が悪化します。

最低賃金は「生活保護と整合性をはかる」となっており、生活保護基準の金額と連動しています。最低賃金が引き下げられれば、労働条件全体の大幅な悪化をまねきます。



消費が落ち込み、景気・雇用状況が悪化します。

賃金や生活保護費引き下げで収入が減る世帯、減免制度が使えずに支出が増える世帯では、その分、消費に回せるお金が減ります。

国民のいのちと生活を守るのは、国の義務です。
生活保護基準は、その最低限度の指標です。

いのちの最終ラインを引き下げようとする国に対し、

「ちょっと待った!」と、一緒に声をあげませんか。

ちょっと
待った!

不安が
いっぱい!

生活
できない!

